

講義名	対15-野外教育活動演習(キャンプ実習)			授業形態	
担当教員	大島 秀武/内田 遼介/関 和俊		開講期・曜日・時間	前期集中 日曜日 その他	
	単位数	2	履修開始年次	2年生	ナンバリング

主題と概要

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、レジャー活動が制限される中、登山やキャンプといった野外活動は、密を避けながら自然を満喫できる点から注目されている。矢野経済研究所(2020)によると、2019年の国内野外(アウトドア)市場規模は、前年比3.2%増の5,169億4,000万円と推計されている。近年は、グランピングやソロキャンプといった新たな形態が登場するなど、今後も野外(アウトドア)市場は拡大していくことが予想される。一方で、自然環境を舞台にする野外活動は危険と隣り合わせであり、常にリスクを認識しながら活動を行う必要がある。本演習では、六甲全山縦走コース5日間(1日目は日帰り、2-3日目は宿泊)で実施する。自然環境での野外活動を通して、コミュニケーション能力や課題解決能力を身につけることを目指すとともに、学内外での研修を通して自然環境の中で他者と協力して課題を解決していくことで自ら行動する力や共助する力を養う。

到達目標

自然環境での生活を通して、自ら判断し行動することができる。
グループでの活動を通して仲間と協力して助け合い、手助けできる。
新型コロナウイルス感染症等の学校感染症への感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生には、個別に対応します。

提出課題

実習レポート

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

活動の内容に応じて個人またはグループに対して講評を行います。

評価の基準

取組状況・・・80%
提出課題・・・20%

履修にあたっての注意・助言他

7月20日(水)12:30-14:00(予定) 事前研修を教室内で行います。
8月29日(月)07:30-14:00(予定) 学外研修1日目はJR塩屋駅から神戸電鉄越前駅までを目標します。
9月01日(水)07:30-17:00(予定) 学外研修2日目は神戸電鉄越前駅から神戸市立自然の家を目指します(当日は宿泊)。
9月02日(金)08:30-16:00(予定) 学外研修3日目は神戸市立自然の家から阪急宝塚駅を目指します。
天候不良やその他の事情によって学外研修の日時や場所を変更する場合があります。変更する場合は事前に受講生に案内するようにします。

<その他>
・宿泊費(食費込み)として2,950円が必要です(7月20日(水)の事前研修時に支払い手続きを行います)。
・学外研修に必要なお金は個人負担となります。主に交通費(-2,000円)や行動費・飲料の購入(-1,500円)などに必要です。
・学外研修に必要な物については事前の説明会で指示するため、必ず出席してください。

教科書	.使用しない。				
参考図書	.なし。				

その他

<プリント資料>
講義に必要な資料は当日配布します。

授業計画

<事前研修>
01 授業のねらい、グループ編成、学外研修に向けての注意点
02 講義「登山のリスクとリスク対策、地図の読み方について」

<学外研修1日目(日帰り)>
03 六甲全山縦走コースのうち前半16.2km(JR塩屋駅から神戸電鉄越前駅まで)
04 同上
05 同上
06 中間レポートの作成

<学外研修2日目>
07 六甲全山縦走コースのうち中間14.6km(神戸電鉄越前駅から神戸市立自然の家まで)
08 同上
09 同上
10 同上
11 夜間 講義「登山が身体的健康に及ぼす効果について」

<学外研修3日目>
12 六甲全山縦走コースのうち後半22.2km(神戸市立自然の家から阪急宝塚駅まで)
13 同上
14 同上
15 最終レポートの作成

授業形態(アクティブ・ラーニング)

<input type="radio"/> A: PBL(課題解決型学習)	<input type="radio"/> I: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> U: ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> E: グループワーク
<input type="radio"/> O: プレゼンテーション	<input type="radio"/> K: 実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> K: その他(A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

<予習>
指定する資料を熟読し、要点をまとめておくことを求めます(1時間程度)。その他、学外研修当日までに、指定された用具を準備すること、ハイキングに関連する基礎知識について理解すること、野外教育活動がもたらす身体的効果・心理的効果について理解すること、野外活動のリスクについて理解することを求めます(1時間程度)。
<復習>
毎時間終了後に、講義中に学んだこと、学外研修で経験したことを大学生生活に活かす方法について考えることを求めます(2時間程度)。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

<スポーツ健康コース>
・地域貢献活動などのフィールドワークを通して身につけた、幅広い年齢層に対応できるコミュニケーション能力やリーダーシップ力、マネジメント力を発揮することができる。
・到達目標、を達成することで、他者とのコミュニケーション能力向上に繋がり、リーダーシップ力、マネジメント力を発揮できるようになる。
・健康保持・増進やスポーツパフォーマンス向上などのための理論や指導法を学び、それを通して身につけたプレゼンテーション能力に基づき効果的な指導ができる。
・グループ活動の多い科目内容であるため、到達目標、の達成に伴い、個人の意見を他者へ伝えるプレゼンテーション能力向上に貢献できる。

<スポーツマネジメントコース>
・「する」ある、「させる」の視点で、スポーツをキーワードとする関連事業分野、業種において企画運営に携わることができる。
・到達目標、の達成により、野外活動運営を通して、企画運営能力を養うことができる。
・健康増進やスポーツ産業などの多様な社会的背景と今後の課題と対応策について、分析、評価、企画を行うことができる。
・到達目標、の達成は学次のディプロ・マボリシーに直接的に関与しないが、野外活動を通して、様々な現状における課題とその対応策などについて分析評価できる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

なし

実務経験の有無及び活用

なし

備考

なし